

## あま市巡回バス運行の見直しについて

## 1 運行曜日の設定

## (1)前回の会議の意見

- ・病院は月曜日と金曜日の利用が多い傾向がある。
- ・月曜日は病院需要があるが、南部巡回ルートでは公共施設の利用が多い。
- ・月曜日、水曜日、金曜日が見えやすい。

## (2)新しい運行曜日について

(1)の内容や、公共施設の休館情報等を基に、表のとおり運行曜日ごとのメリット及びデメリットについてまとめました。

月曜日を運行曜日とすると、巡回バス利用者の多い七宝焼アートヴィレッジや美和文化会館が休館であるため、利用者数の減少につながる可能性があります。

水曜日を運行曜日とすると、美和総合福祉センター、コミュニティプラザ萱津及び七宝老人福祉センターの浴室が休館であるため、利用者数の減少につながる可能性があります。

火曜日及び金曜日につきましては、休館施設がないことや、これまでの運行実績から利用者の確保が望めるため、運行曜日として設定したいと考えております。

運行曜日	メリット	デメリット
月曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院需要がある</li> <li>・「月、水、金」とした場合、運行曜日が見えやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休館施設がある (七宝焼 AV、美和文化会館、甚目寺総合体育館、七宝総合体育館等)</li> </ul>
火曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの運行曜日</li> <li>・運行実績に基づく利用者数の確保</li> <li>・休館施設がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>
水曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「月、水、金」とした場合、運行曜日が見えやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休館施設、一部休館施設がある (甚目寺産業会館、美和歴史民俗資料館、甚目寺歴史民俗資料館、美和総合福祉センターすみれの里(浴室)、コミュニティプラザ萱津(浴室)、七宝老人福祉センター(浴室))</li> </ul>
金曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院需要がある</li> <li>・これまでの運行曜日</li> <li>・運行実績に基づく利用者数の確保</li> <li>・休館施設がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>

事務局といたしましては、(1)の内容や、それぞれの曜日のメリットデメリットを鑑み、火曜日、水曜日、金曜日で運行曜日を設定したいと考えております。

また、利用者から運行曜日の要望をさらにいただくため、令和4年度8月から10月の間で利用者座談会を開催する予定をしております。その後、令和4年度第2回あま市地域公共交通会議にて運行曜日についてご協議いただき、運行曜日を決定していきたいと考えております。

## 2 ルートの設定

## (1)前回の会議の意見

- ・名鉄バス岩塚線と競合部分ができることに対して非常に不安を覚える。  
(アズパーク、JR 蟹江駅)
- ・利用者からみると、名鉄バスとJR 蟹江駅の両方が使えるということは非常に良い。
- ・南北線の南部巡回ルートは、市の移動をつかさどる非常に大きな軸になりうる。
- ・公共交通全体の利便性の向上を目指していかない限り需要が減っていく。
- ・運行時間は1ルート、大体60分を超えているということで、少し長めの印象をもつ。
- ・全部同時刻に出発すると乗り継ぎが容易にできるようになる。
- ・一周の時間を短くして、その代わり本数を増やすというのは、一つの考え方としてあると思う。
- ・最初から遅延が見込まれるダイヤ設定は難しいのでは。

## (2)新ルート図について

(1)の内容を基に、資料2別紙のとおり巡回ルートを変更しました。第2回あま市地域公共交通会議時からの変更内容は次のとおりです。

## ●北部巡回ルート

- ・七宝町遠島、七宝町秋竹を走行するルートを追加

## ●南部巡回ルート

- ・七宝町秋竹を走行するルートを削除
- ・アズパークを走行するルートを削除
- ・美和総合福祉センターすみれの里、美和文化会館を走行するルートを追加

## ●東部巡回ルート

- ・湯吉郎へ向かうルートを削除

## 3 参考（見直しにおける条件及び課題）

## (1)条件

- ・既存のバス停は**効率性を考慮**し、見直しをはかる。
- ・運行委託費は、現状と同額程度とすることから、サービス水準を見極め、運行日は現在と同じく**週3日**、運行時間も現在と同じく**8時間程度**とする。
- ・車両は、現在と同じ**3台**とする。
- ・**運行便数**を現在の便数より**増やす**。

## (2)課題

## ●利用者数

- ・「東部巡回ルート」の利用者数が他2ルートと比べ5割以下
- ・「日曜日」の利用者数が他の曜日と比べ2割前後
- ・バス停ごとの利用者数の大幅な差（年間利用者がいないバス停が存在）

## ●利便性

- ・巡回ルートが長いことによる乗車時間の長さ
- ・運行本数が少ないことによる利便性の悪さ

## ●運行曜日

- ・市民が求めている運行曜日及び運行時刻が異なる